

新^{しん} 緑^{みどり} ニュース



病院の理念

確かな医療技術
やさしい対応
地域への貢献

さんきかい よこはましんみどりそうごうびょういん
医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院
〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7
TEL. 045-984-2400 (代表) FAX. 045-983-4271
発行 地域医療連携室 TEL.045-984-6216 (直通)



3 年 半 を 振 り 返 り

院長 松前 光紀

横浜新緑総合病院は「標準医療を迅速に提供する」を合言葉に地域に貢献してまいりました。標準医療とは、いわゆる大学病院や救命センターが行う高度な医療を除いた病気の治療となります。迅速に提供するためには、救急車やクリニックからの紹介患者さんに対する診察を充実させる必要があります。そのため、昨年「二人主治医制」を推進してきました。救急患者さんには素早い判断が求められますので、多くの職員や医療機器を動員します。クリニックからの紹介患者さんの病気は複雑ですから、診察に時間がかかります。また紹介や救急の患者さんは入院されることが多く、さらに複雑な検査や手術が必要になることもあります。これら患者さんの医療へ私たちが力を注ぐため、症状が落ち着き定期的な診察・検査・投薬が主となった外来患者さんの理解をいただき、クリニックの先生と当院外来主治医が二人で患者さんを診る「二人主治医制」を導入してきました。長く外来通院している患者さんは、いろいろな科で診てもらい、その日のうちに検査結果を知ることができる外来の在り方は便利であったと思います。しかし国は、病院とクリニックとの役割分担をはっきりさせるように指示しています。当院はその方針に従って「二人主治医制」を推進してきました。幸い多くの患者さんの理解を得て、定期的な通院はクリニックへご紹介し、年に一回程度の大げな検査とその説明は当院で、といった流れを作ることができました。ご理解いただいた患者さんへ心から感謝申し上げます。

さて入院についてです。まず心臓の機能を扱う循環器内科の先生が増え、心臓のカテーテル検査や治療が増えました。またクリニックからの要望で睡眠時無呼吸の検査も開始しました。高齢者が入所する施設から依頼される、転倒による骨折、脳梗塞、肺炎、消化管の機能障害にも積極的に連携してきました。特に人口の高齢化に伴い、さまざまな病気が関連し、決して一つの科だけでは対応できない時に活躍する総合診療を専門とする先生も入職しました。当院の伝統である消化管内視鏡を用いた治療は、若手医師が新たに加わり一層充実しました。外科が行う鼠径

ヘルニアの治療は件数ならびに成績は県内トップとなっております。骨盤の臓器が下がる病気を扱える医師は少ないですが、当院婦人科で多くの手術を行っています。性機能や更年期の障害については男女を問わず泌尿器科で相談・診察を行っています。乳腺外科には乳がん治療から緩和医療まで幅広く担当する医師が二名おります。皮膚科は入院患者さんの依頼や、地域での訪問診療を充実させております。整形外科にはケガによる治療のほか、膝や股ならびに肩の関節治療を専門とする医師が加わりました。脳血管の治療を得意とする脳外はさらに医師が増え、また脳深部の病気を治療できる医師が加わりました。当院では手術の件数が飛躍的に増加しましたが、麻酔科では安心安全な麻酔を行っています。地域のクリニックからMRIやCTなどの画像検査を依頼される機会も増え、放射線科医は毎日たくさんの報告書を作成しております。リハビリテーションを集中して提供する時期となった患者さんを引き受ける病棟の医師は、患者さんの家庭環境を理解しつつ多職種で連携して治療を行っています。人間ドックや健診を引き受ける部門では、的確な診察や検査結果に基づいた報告をアドバイスと共に提供しております。

当院には医師を含め7月1日現在614名の職員が勤務しております。色々な職種が協力し、確かな医療技術で地域へ貢献し、訪れる方々へはやさしく対応することをモットーとしております。院長として3年半で、地域の中で最も質の高い医療を提供できる総合病院へ成長したと自負しております。

いま当院は、地域の方々から愛され、クリニックや救急隊から信頼される存在となりました。これまで病院に対していただきましたご支援に心から感謝いたします。10月より院長を交代いたしますが、これからも横浜新緑総合病院をよろしく願いたします。





インターンシップを開催しました

看護部 副看護部長 千葉 恵

神奈川県教育活動の一環としたインターンシップを8月5日に開催し、横浜北地区の県立高校5校より10名の学生が参加しました。将来、医師や看護師、薬剤師を目指している学生の方は病棟で看護業務を教わりながら、実際の医療現場を体験していただけたと思います。また、自身の心臓の音を聴診器で聞いたり脈拍を計測したり、点滴に触れて投与のシミュレーションをするなど、普段では経験できないことを楽しみながら学んでいました。医療に興味を持ち、将来の職業として身近に体験できるインターンシップを多くの方に利用してもらいたいと思います。もちろん進路に悩む方々も、インターンシップを通して病院や医療従事者を 知り、将来の選択肢を広げ、自分に合った職業を探し出すきっかけになるとよいと思います。



第4回 病院祭を開催します

今年も病院祭を開催します。皆さまお誘い合わせの上、ぜひお越しください。

日時：2025年10月19日（日）10：00～12：30

場所：病院ロータリー・外来ロビー

イベント内容

- 健康体験（体力測定・パッククッキング体験・宅配食紹介）
- 説明・見学イベント（認知症紹介相談・感染症相談・院内見学ツアー・ちびっこ衣装撮影・顕微鏡で細胞を見てみよう・レントゲンクイズ・点滴試飲）
- 販売（病院バザー・緑工房出店）

2025 第4回 病院祭

10/19(日) (雨天決行)

※当日無料送迎バスは運行しません
ご車での場合は公共交通機関をご利用ください

日時 午前10時～午後12時30分

場所 横浜新緑総合病院 ロータリー・外来ロビー
〒226-0025 横浜新緑区十日市場町1726-7

イベント内容

- 健康体験 (体力測定・パッククッキング体験・宅配食紹介)
- 説明・見学イベント (認知症相談・感染症相談・院内見学ツアー・ちびっこ衣装撮影・顕微鏡で細胞を見てみよう・レントゲンクイズ・点滴試飲) ※院内見学ツアー 受付時間10:00～11:15となります。
- 販売 (病院バザー・緑工房出店・緑工房小物販売)

横浜新緑総合病院 施設管理委員会



緑すこやか健康講座を開催します

日時：2025年10月25日（土）

場所：横浜市緑公会堂（緑区寺山町118）※参加無料です。

後援：緑区役所 福祉保健課

講演① 自分で守ろう脳卒中 ～脳ドックのすすめ～

講師：豎月 順也 横浜新緑総合病院 脳神経外科部長

講演② 夜の眠りが明日の健康をつくる！～3つのケースで学ぶ睡眠時無呼吸症候群～

講師：堀井 睦夫 横浜新緑総合病院 内科

講演③ 脳と腸は会話する？ ～過敏性腸症候群について～

講師：平井 和弥 横濱おなか診療所 院長



事前申し込み受付中！お申込み・お問い合わせ
横浜新緑総合病院 045-984-2400 (代)

緑すこやか健康講座

10/25(土) 横浜市緑公会堂 参加無料

14:00～16:30 (開場13:30) (緑区寺山町118)

講演① 14:00～14:30
自分で守ろう脳卒中 ～脳ドックのすすめ～
講師：豎月 順也(横浜新緑総合病院 脳神経外科部長)

講演② 14:35～15:05
夜の眠りが明日の健康をつくる！
～3つのケースで学ぶ睡眠時無呼吸症候群～
講師：堀井 睦夫(横浜新緑総合病院 内科)

講演③ 15:10～15:40
脳と腸は会話する？ ～過敏性腸症候群について～
講師：平井 和弥(横濱おなか診療所 院長)

入場券不要！ 来場者限定 体験コーナー

1. 高血圧の検診コーナー 2. 脳卒中体験コーナー 3. 睡眠時無呼吸症候群体験コーナー

お申込みお問い合わせ
横浜新緑総合病院 TEL:045-984-2400

横浜新緑総合病院 施設管理委員会

WEB版みんなの健康講座

※オンライン配信

病気や健康に関する情報を発信しています。Web版みんなの健康講座はホームページ、スマートフォン(QRコード)からいつでもご視聴いただけます。

